

講義名:	セルフマネジメント I ①	講義時間数: 90時間	受講コース名: エアライン	
担当:	坂上 弘次	単位数: 6単位	学年: 1年	
講義形式:	演習(小テスト・スピーチなど)		実施時期: 2025年度 前期	
認定方法:	その他(出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目	
評価:	S=90点以上、A=80～89点、B=70～79点、C=50～69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:	
追試験実施:	無し			
備考:	原則、全登校日の1限目に実施。日々積み重ねていくことが最も重要な科目であるため、試験ではなく、出席率・提出物を評価の対象とする。			
講義概要:	日直主導で企業朝礼を意識した挨拶・唱和の実施、情報共有・スケジュール確認他朝テストなどの帯学習実施 スピーチによる自己開示を含めた発信力の強化			
到達目標:	自律する力、自ら考える力、行動する力、感謝する心を身につける。 自分の考えを自分の言葉で表現できる。他者の考えを素直に吸収し人間性の幅を広げられる。			
講義スケジュール(変更の可能性有り)				
毎回共通	唱和・情報共有・小テスト(漢字・一般常識・基礎学力)・スピーチ・ディスカッション ※時期により内容変動有り			
授業教材等:	オリジナルプリント			

講義名:	航空基礎	講義時間数:30時間	受講コース名: エアライン	
担当:	藤原 有美	単位数: 2単位	学年: 1年	
講義形式:	座学		実施時期: 2025年度 前期	
認定方法:	その他(出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目	○
評価:	S=90点以上、A=80～89点、B=70～79点、C=50～69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験: 客室乗務員勤務歴4年	
追試験実施:	無			
備考:				
講義概要:	略語・スリーレターをはじめ、航空業界の基本を学ぶ。			
到達目標:	インターンシップに参加する前に必要な知識を習得し、簡易テストで満点をとる。それ以外にもお声掛けの方法、タイミングなど接客業について重要な相手軸について考える。			
講義スケジュール(変更の可能性有り)				
1回目	オリエンテーション、日本の航空会社について			
2回目	日本の空港紹介・スリーレターについて			
3回目	受託会社と委託会社の違い、スリーレターについて			
4回目	略語解説①			
5回目	略語解説②			
6回目	略語解説③			
7回目	略語解説④			
8回目	略語解説⑤			
9回目	お声掛けのタイミングと掛け方について			
10回目	業界研究・空港見学振り返り①			
11回目	業界研究・空港見学振り返り②			
12回目	業界研究・空港見学振り返り③			
13回目	業界研究・空港見学振り返り④			
14回目	業界研究・空港見学振り返り⑤			
15回目	簡易テスト実施			
16回目				
授業教材等:				

講義名:	就職対策 I	講義時間数: 30時間	受講コース名: エアライン	
担当:	藤原 有美	単位数: 2単位	学年: 1年	
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2025年度 前期	
認定方法:	その他(出席率・授業態度・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目	○
評価:	S=90点以上、A=80～89点、B=70～79点、C=50～69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験: 客室乗務員勤務歴4年	
追試験実施:	無			
備考:				
講義概要:	「働く」とは何か自分で考え、意義や重要性を理解し、自己分析や企業研究などを通して就職活動へ臨む心構え・知識・マナーを身に付ける。			
到達目標:	自己分析を通して自分の本質を理解し、企業研究を通してキャリア形成を行う。 就職活動を通して主体的に自分の人生について具体的に描き行動できる力を養う。			
講義スケジュール(変更の可能性有り)				
1回目	レクリエーション(自己開示)			
2回目	働くことの意義、就職活動のノウハウ			
3回目	自己分析 ①ライフラインチャート			
4回目	自己分析 ②ライフラインチャート			
5回目	自己分析 ③個性			
6回目	他己分析			
7回目	レクリエーション(表現力)			
8回目	企業研究 ①進め方			
9回目	企業研究 ②JAL			
10回目	企業研究 ③ANA			
11回目	企業研究 グループワーク			
12回目	企業研究 グループワーク			
13回目	企業研究 グループワーク			
14回目	企業研究 発表			
15回目	企業研究 発表予備			
16回目				
授業教材等:	オリジナルプリント			

講義名:	マナープロトコール	講義時間数: 30時間	受講コース名: エアライン
担当:	橋本 昌奈	単位数: 2単位	学年: 1年
講義形式:	座学		実施時期: 2025年度 前期
認定方法:	認定試験(筆記)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80～89点、B=70～79点、C=50～69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	有(試験日欠席、またはD評価の場合) 日時未定 講義時間数の80%以上出席必要		
備考:	追試験料別途集金		
講義概要:	国際化の著しい現代社会において異文化に対する理解は不可欠なものであるが、その前提として日本人、社会人として必須のビジネスマナー、テーブルマナー、プロトコール(国際儀礼)、冠婚葬祭に関わる知識や技能を、正しく学び、理解する。		
到達目標:	「マナープロトコール3級」資格取得。日本の礼儀作法と西洋のマナー・エチケットの成り立ち、アジアのマナーを説明できる。国際人としてのプロトコールの原則、社交の場でのコミュニケーション方法を説明できる。電話対応のポイント、敬語、ビジネスシーンでのポイントを説明できる。食事のマナーとして、和食・西洋料理・中国料理・各国料理のマナーの特長を説明できる。冠婚葬祭のしきたりのポイントを説明できる。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	オリエンテーション／マナーの歴史と意味		
2回目	プロトコールの基本原則・席次		
3回目	プロトコール 国旗の扱い、礼拝の場でのマナー		
4回目	プロトコール パーティの種類とマナー		
5回目	ビジネスマナー 服装のマナー、印象		
6回目	ビジネスマナー 手紙、ビジネス文書、贈答のマナー		
7回目	食事のマナー 西洋料理、各国料理のマナー		
8回目	食事のマナー 日本料理のマナー		
9回目	冠婚葬祭 日本の通過儀礼		
10回目	冠婚葬祭 祭のしきたり		
11回目	検定対策 過去問解答ならびに解説		
12回目	検定対策 過去問解答ならびに解説		
13回目	検定対策 過去問解答ならびに解説		
14回目	単位認定試験実施		
15回目	検定試験実施		
16回目			
授業教材等:	NPO法人日本マナー・プロトコール協会 マナー＆プロトコールの基礎知識		

講義名:	TOEIC I ①Advanced	講義時間数: 60時間	受講コース名: エアライン	
担当:	大館 直也	単位数: 4単位	学年: 1年	
講義形式:	座学		実施時期: 2025年度 前期	
認定方法:	その他(出席率・授業態度・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目	○
評価:	S=90点以上、A=80～89点、B=70～79点、C=50～69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験: 留学エージェンツ会社の現役留学コーディネーター TOEIC指導歴 14年	
追試験実施:	無			
備考:	評価:出席率30%、授業態度30%、単語テスト20%、宿題20%			
講義概要:	・TOEICの概要と対策、学習法を知る。 ・単語の品詞、特性、効率的なノートの作り方、覚え方を学ぶ。 ・リスニングではpart1.2、リーディングではpart5.6.7(single passageのみ)について学ぶ。 ・TOEIC必須英単語を学ぶ。 ・TOEICの基礎となる中学高校英文法の復習を行う。			
到達目標:	・基礎となるTOEIC頻出単語フレーズを身につける。 ・リスニングパート1及び2に慣れ、得点源とする。(目標:70%正答) ・リーディングパートを読むコツ(文法)を学び、パート5.6及び7(シングルパッセージまで)にて60%の正答を目指す。 ・TOEICテストにて500点台を目指す。			
講義スケジュール(変更の可能性有り)				
1回目	自己紹介、TOEIC概要説明	17回目	フレーズテスト、単語Day8、文法Chapter2つ分、リーディング実践演習	
2回目	事前課題確認・復習	18回目	単語テスト、フレーズDay8、文法Chapter2つ分、リスニング実践演習	
3回目	単語Day1、文法Chapter2つ分	19回目	フレーズテスト、単語Day9、文法Chapter2つ分、リーディング実践演習	
4回目	単語テスト、フレーズDay1、文法Chapter2つ分、リスニング実践演習	20回目	単語テスト、フレーズDay9、文法Chapter2つ分、リスニング実践演習	
5回目	フレーズテスト、単語Day2、文法Chapter2つ分、リーディング実践演習	21回目	フレーズテスト、単語Day10、文法Chapter2つ分、リーディング実践演習	
6回目	単語テスト、フレーズDay2、文法Chapter2つ分、リスニング実践演習	22回目	単語テスト、フレーズDay10、文法Chapter2つ分、リスニング実践演習	
7回目	フレーズテスト、単語Day3、文法Chapter2つ分、リーディング実践演習	23回目	フレーズテスト、単語Day11、文法Chapter2つ分、リーディング実践演習	
8回目	単語テスト、フレーズDay3、文法Chapter2つ分、リスニング実践演習	24回目	単語テスト、フレーズDay11、文法Chapter2つ分、リスニング実践演習	
9回目	フレーズテスト、単語Day4、文法Chapter2つ分、リーディング実践演習	25回目	フレーズテスト、単語Day12、文法Chapter2つ分、リーディング実践演習	
10回目	単語テスト、フレーズDay4、文法Chapter2つ分、リスニング実践演習	26回目	単語テスト、フレーズDay12、文法Chapter2つ分、リスニング実践演習	
11回目	フレーズテスト、単語Day5、文法Chapter2つ分、リーディング実践演習	27回目	フレーズテスト、単語Day13、文法Chapter2つ分、リーディング実践演習	
12回目	単語テスト、フレーズDay5、文法Chapter2つ分、リスニング実践演習	28回目	単語テスト、フレーズDay13、文法Chapter2つ分、リスニング実践演習	
13回目	フレーズテスト、単語Day6、文法Chapter2つ分、リーディング実践演習	29回目	フレーズテスト、単語Day14、文法Chapter2つ分、リーディング実践演習	
14回目	単語テスト、フレーズDay6、文法Chapter2つ分、リスニング実践演習	30回目	単語テスト、フレーズDay14、文法Chapter2つ分、リスニング実践演習	
15回目	フレーズテスト、単語Day7、文法Chapter2つ分、リーディング実践演習	31回目		
16回目	単語テスト、フレーズDay7、文法Chapter2つ分、リスニング実践演習	32回目		
授業教材等:	①キクタン TOEIC L&Rテスト Score500 ②英文法授業ノート ③TOEIC L&Rテスト 書き込みノートドリル【ボキャブラリー編】 ④TOEIC L&Rテスト 書き込みノートドリル【フレーズ言いまわし編】			

講義名:	TOEIC I ①Basic	講義時間数: 60時間	受講コース名: エアライン	
担当:	大館 直也	単位数: 4単位	学年: 1年	
講義形式:	座学		実施時期: 2025年度 前期	
認定方法:	その他(出席率・授業態度・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目	○
評価:	S=90点以上、A=80～89点、B=70～79点、C=50～69点、D=50点未満(単位不認定)		実務経験: 留学エージェント会社の現役留学コーディネーター TOEIC指導歴 14年	
追試験実施:	無			
備考:	評価:出席率30%、授業態度30%、単語テスト20%、宿題20%			
講義概要:	・TOEICの概要と対策、学習法を知る。 ・単語の品詞、特性、効率的なノートの作り方、覚え方を学ぶ。 ・リスニングpart2の問題を通して、聞き取りの基本を学ぶ。 ・品詞を軸として、Part5で必要とされる文法知識を身に着ける。 ・TOEIC基礎単語を学ぶ。			
到達目標:	・基礎となるTOEIC単語(300語)の内、70%の単語においては意味が分かるようになる。 ・リスニングpart2に触れ、60%正答できるようになる。 ・リーディングpart5で40%正答できるようになる。 ・TOEIC試験にて400点台を目指す。			
講義スケジュール(変更の可能性有り)				
1回目	自己紹介、TOEIC概要説明		17回目	単語テストUnit29-30、文法第3章基本ドリル2-3、単語テキストUnit3チャレンジドリル
2回目	事前課題確認・復習		18回目	単語テストUnit1-2、文法第3章基本ドリル4+第4章基本ドリル1、リスニング基本ドリル23-24
3回目	単語テストUnit1-2、文法Quiz、書き込みノートLesson1		19回目	単語テストUnit3-4、文法第3章基本ドリル2-3、リスニング基本ドリル25-26
4回目	単語テストUnit3-4、文法第1章基本ドリル1-2、リスニング基本ドリル1-2		20回目	単語テストUnit5-6、文法第3章基本ドリル4+第5章基本ドリル1、リスニング基本ドリル27-28
5回目	単語テストUnit5-6、文法第1章基本ドリル3-4、リスニング基本ドリル3-4		21回目	単語テストUnit7-8、文法第5章基本ドリル2-3、リスニング基本ドリル29-30
6回目	単語テストUnit7-8、文法第1章基本ドリル5-6、リスニング基本ドリル5-6		22回目	単語テストUnit9-10、文法第5章基本ドリル4+第6章基本ドリル1、リスニング基本ドリル31-32
7回目	単語テストUnit9-10、文法第1章基本ドリル7-8、リスニング基本ドリル7-8		23回目	単語テストUnit11-12、文法第6章基本ドリル2-3、リスニング第1章復習ドリル1-2+チャレンジドリル
8回目	単語テストUnit11-12、文法第1章基本ドリル9-10、リスニング基本ドリル9-10		24回目	単語テストUnit13-14、文法第1章復習ドリル1-2、リスニング第2章復習ドリル+チャレンジドリル
9回目	単語テストUnit13-14、文法第1章基本ドリル11-12、リスニング基本ドリル11-12		25回目	単語テストUnit15-16、文法第2章復習ドリル1-2、リスニング第3章復習ドリル+チャレンジドリル
10回目	単語テストUnit15-16、文法第1章基本ドリル13+第2章基本ドリル1、リスニング基本ドリル13-14		26回目	単語テストUnit17-18、文法第3章復習ドリル+チャレンジドリル、リスニング第4章復習ドリル+チャレンジドリル
11回目	単語テストUnit17-18、文法第2章基本ドリル2-3、リスニング基本ドリル15-16		27回目	単語テストUnit19-20、文法第4章復習ドリル+チャレンジドリル、リスニング第5章復習ドリル+チャレンジドリル
12回目	単語テストUnit19-20、文法第2章基本ドリル4-5、リスニング基本ドリル17-18		28回目	単語テストUnit21-22、文法第5章復習ドリル+チャレンジドリル、リスニング第6章復習ドリル+チャレンジドリル
13回目	単語テストUnit21-22、文法第2章基本ドリル6-7、リスニング基本ドリル19-20		29回目	単語テストUnit23-24、文法第6章復習ドリル+チャレンジドリル、リスニングミニ模試
14回目	単語テストUnit23-24、文法第2章基本ドリル8-9、リスニング基本ドリル21-22		30回目	単語テストUnit25-26、文法テキスト、リスニングテキスト復習
15回目	単語テストUnit25-26、文法第2章基本ドリル10-11、単語テキストUnit1チャレンジドリル		31回目	
16回目	単語テストUnit27-28、文法第2章基本ドリル12+第3章基本ドリル1、単語テキストUnit2チャレンジドリル		32回目	
授業教材等:	①TOEIC L&Rテスト英単語ゼロからスコアが稼げるドリル ②TOEIC L&Rテスト英文法ゼロからスコアが稼げるドリル ③TOEIC L&Rテストリスニングゼロからスコアが稼げるドリル			

講義名:	英会話 I ①	講義時間数:30時間	受講コース名: エアライン	
担当:	Robert	単位数: 2単位	学年: 1年	
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2025年度 前期	
認定方法:	その他(出席率・授業態度・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目	○
評価:	S=90点以上、A=80～89点、B=70～79点、C=50～69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験: 講師経験22年	
追試験実施:				
備考:	Please arrive on time to class. Please bring your textbook and a notebook to every class.			
講義概要:	This class will focus on basic English conversation skills and conversation strategies. As well, when appropriate it will introduce useful business English to help students acquire the necessary skills and knowledge needed to better perform in the service industry; such as Airline & hotel. A tentative schedule of the 1st Semester is below, which uses the ‘Nice Talking with You 1’ textbook. Please understand the schedule may change.			
到達目標:	A key part of this course is participation and attendance. You will often work in pairs and groups so try not to be shy, and remember – the more you try the better you will become at speaking English. Please bring a B5 notebook as you might have to write some things down. Also, please no using phones during the lesson. If you want to use the phone to look up a word, please ask.			
講義スケジュール(変更の可能性有り)				
1回目	Introductions & Greetings: Unit 1・Classroom vocabulary			
2回目	Personal information (name, country, phone number). Simple present: I am / You are			
3回目	Unit 2: Describing People & Things :Personal Information. Adjectives: tall, short, young, old			
4回目	Pronouns: he, she, it, they. Numbers 1-100. Boarding cards			
5回目	Unit 3: Daily routines Simple present: I wake up at 7 AM.			
6回目	Yes/No questions: Do you wake up early? Telling time. Check in.			
7回目	Unit 4: Family members Possessive adjectives: my, your, his, her			
8回目	Possessive nouns: Tom’s book Writing about your family			
9回目	Unit 5: Where is it? Prepositions of place: on, in, under, next to			
10回目	There is / There are Giving directions			
11回目	Unit 6: Can & Can’t Expressing abilities: I can swim. I can’t drive.			
12回目	Role-play: Offering help at the airport.			
13回目	Unit 7: Leisure activities Like + verb-ing: I like reading.			
14回目	Invitations: Would you like to...?			
15回目	End of term quiz and Communication activity			
16回目				
授業教材等:	Textbook : Side by Side level 1			

講義名:	エアラインマインド I	講義時間数: 30時間	受講コース名: エアライン	
担当:	長澤 さおり	単位数: 2単位	学年: 1年	
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2025年度 前期	
認定方法:	認定試験(筆記・その他)		実務経験者 担当科目	○
評価:	S=90点以上、A=80～89点、B=70～79点、C=50～69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験: エアライン業界勤務 10年	
追試験実施:	有(試験日欠席、またはD評価の場合)日時未定 講義時間数の80%以上出席必要 追試験検定料 1,000円 追試験合格点 50点以上(評価 C)			
備考:				
講義概要:	エアライン業界において重要であるホスピタリティマインドを理解し・醸成していく思考を修得する。並びに、就職活動に向けて、ホスピタリティマインドの表現＝信頼を得る挨拶・身だしなみ・態度・言葉遣い等も身につける。自己実現に向かうための自己分析を行う。			
到達目標:	学生が主体的に考え、自己の向上心を持ち、他者と良好な対人関係を築くことができる。並びに、根底に「思いやり」「助け合い」の心を持ち、社会の発展に貢献する価値を作り出すことができる思考またその力を培うことを目指す。			
講義スケジュール(変更の可能性有り)				
1回目	オリエンテーション・自己紹介			
2回目	敬語の確認・目的目標の違い・ファシリテーションスキル・JAL/ANA理念			
3回目	ホスピタリティとは			
4回目	TDLお子様ランチ・ホスピタリティ思考			
5回目	私のホスピタリティ発表・接遇検定模擬			
6回目	接遇検定振り返り・CA/GSの仕事			
7回目	接遇違い・企業品質・顧客誕生の仕組み・6つの心理			
8回目	美しい所作・カートSVC台本作り			
9回目	カートSVC実践			
10回目	真実の瞬間			
11回目	真実の瞬間②・言葉づかいプリント			
12回目	相手に伝わる「伝え方」			
13回目	敬語・クッション言葉・ライフラインチャート			
14回目	自己分析・エゴグラム・FBシート			
15回目	面接模擬動画視聴・前期期末試験			
16回目				
授業教材等:	ホスピタリティ・マナーテキストブック、配布プリント			

講義名:	空港実務	講義時間数:30時間	受講コース名: エアライン	
担当:	両備スカイサービスカンパニー	単位数: 2単位	学年: 1年	
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2025年度 前期	
認定方法:	その他(出席率・授業態度・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目	○
評価:	S=90点以上、A=80～89点、B=70～79点、C=50～69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験: 岡山空港現役グランドスタッフ	
追試験実施:	無			
備考:				
講義概要:	両備ホールディングス講師より、最新のエアライン業界について学ぶ。			
到達目標:	空港実習を行う上で最低限必要となるエアライン業界の知識を習得する。			
講義スケジュール(変更の可能性有り)				
1回目	空港のお仕事紹介			
2回目	時刻表の見方、岡山空港について			
3回目	3レター、2レター、業界用語			
4回目	空港アナウンス			
5回目	チェックイン概要①スキップサービス、乗り継ぎ、MCT			
6回目	手荷物概要			
7回目	チェックイン概要②マイレージカード、航空加盟			
8回目	チェックイン概要③コードシェア、連帯運送			
9回目	チェックイン概要④ INF、PGNTの定義、らくのりサービス			
10回目	チェックイン概要⑤ 配慮を要する旅客			
11回目	配慮を要する旅客のご案内(実技)			
12回目	チェックイン概要復習、模擬チェックイン			
13回目	グランドハンドリング業務			
14回目	イレギュラー概要			
15回目	単位認定試験			
16回目				
授業教材等:				

講義名:	SPI①	講義時間数:30時間	受講コース名: エアライン	
担当:	坂上 弘次	単位数: 2単位	学年: 1年	
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2025年度 前期	
認定方法:	その他(出席率・授業態度・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目	
評価:	S=90点以上、A=80～89点、B=70～79点、C=50～69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:	
追試験実施:	無			
備考:				
講義概要:	速度の計算や損益の計算、また言語の二語関係や用法を学ぶ。それ以外にも基礎計算の学び直しなども行う。			
到達目標:	SPIの対策を通して基礎学力UPを目指す。			
講義スケジュール(変更の可能性有り)				
1回目	オリエンテーション			
2回目	基礎計算			
3回目	損益算・分割払			
4回目	代金の清算・速さ			
5回目	表の読み取り・集計表			
6回目	推論1			
7回目	推論2			
8回目	組み合わせ・確率			
9回目	モノの流れと比率・条件と領域			
10回目	グラフの領域・割合			
11回目	長文読み取り			
12回目	資料の読み取り			
13回目	言語分野対策			
14回目	言語分野対策			
15回目	単位認定試験			
16回目				
授業教材等:				

講義名:	国内旅程管理主任者資格	講義時間数: 20時間	受講コース名: エアライン
担当:	近畿日本ツーリスト	単位数: 1単位	学年: 1年
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2025年度 前期
認定方法:	その他(出席率・授業態度・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目 ☐
評価:	S=90点以上、A=80～89点、B=70～79点、C=50～69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験: 添乗員経験者10年
追試験実施:	無		
備考:	提供時間での資格取得を行うものとする。		
講義概要:	旅行業の業法や約款、取り扱う書類を学び、国内添乗実務を行う。		
到達目標:	観光庁で定められた時間数の受講と修了試験を合格することで資格取得となる。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	オリエンテーション		
2回目	業法、約款について		
3回目	企画旅行と手配旅行		
4回目	添乗員の資格要件		
5回目	取引条件の説明		
6回目	契約書面の交付		
7回目	確定書面について		
8回目	国内添乗業務		
9回目	国内添乗業務		
10回目	修了試験		
11回目	実務研修打ち合わせ		
12回目	実務研修		
13回目	実務研修		
14回目	実務研修		
15回目	実務研修		
16回目	実務研修		
授業教材等:			

講義名:	設備実習	講義時間数: 30時間	受講コース名: エアライン
担当:	藤原 有美	単位数: 1単位	学年: 1年
講義形式:	実技・実習		実施時期: 2025年度 前期
認定方法:	その他(出席率・授業態度・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目 ☐
評価:	S=90点以上、A=80～89点、B=70～79点、C=50～69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験: 客室乗務員勤務歴4年
追試験実施:	無		
備考:			
講義概要:	立居振舞、アナウンス練習、ケーススタディ、ロールプレイ		
到達目標:	おもてなしの心を学び、立居振舞に留意しながら接客対応を身に付ける。 ケーススタディを通して、自分で考え行動する力を養う。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	表情トレーニング		
2回目	立居振舞(所作、表情、言葉使い)		
3回目	アナウンス練習		
4回目	カート・カウンター実習		
5回目	カート・カウンター実習		
6回目	ケーススタディ①		
7回目	ケーススタディ②		
8回目	単位認定実技試験		
9回目			
10回目			
11回目			
12回目			
13回目			
14回目			
15回目			
16回目			
授業教材等:			

講義名:	学科研修 I ①	講義時間数: 45時間	受講コース名: エアライン	
担当:	坂上 弘次	単位数: 3単位	学年: 1年	
講義形式:	座学・演習		実施時期:	
認定方法:	その他(出席率・授業態度・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目	
評価:	S=90点以上、A=80～89点、B=70～79点、C=50～69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:	
追試験実施:	無			
備考:	講義スケジュールは実施回によって時間が異なる			
講義概要:	・学校行事や学科行事、それに付随する準備時間など ・履修状況報告書の作成 ・年度始めなどの節目での「整える」時間、振り返りなどを行う			
到達目標:	学校行事を通して学科の垣根を越え交流を育むと同時に多様な価値観に触れ、視野を広げることを目的とする。また履修状況報告書を通してお世話になった方々への感謝を形にする。			
講義スケジュール(変更の可能性有り)				
1回目	2号館の使い方		17回目	TOEIC受験
2回目	航空業界で求められる人		18回目	ベースポ
3回目	パソコン設定		19回目	マナプロ受験
4回目	姿勢・礼		20回目	TOEIC受験
5回目	sマネについて		21回目	履修状況報告書作成
6回目	JALフィロソフィー		22回目	
7回目	メイク		23回目	
8回目	掟作成		24回目	
9回目	留学説明会		25回目	
10回目	シラバス配布		26回目	
11回目	履修状況報告書		27回目	
12回目	履修状況報告書		28回目	
13回目	プレゼン発表		29回目	
14回目	TOEIC受験		30回目	
15回目	DMM英会話設定		31回目	
16回目	見学注意点とマナー		32回目	
授業教材等:				

講義名:	ヒューマンスキルプログラム	講義時間数: 62時間	受講コース名: 全コース	
担当:	小童 望未・坂上 弘次・安藤 啓示・後田 祥吾・西本 麻衣	単位数: 4単位	学年: 1年	
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2025年度 前期	
認定方法:	その他(出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目	
評価:	S=90点以上、A=80～89点、B=70～79点、C=50～69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:	
追試験実施:	無			
備考:	4/3(木)～4/8(火)の4日間で新入生研修Ⅰを実施 4/21(月)～4/25(金)の5日間で新入生研修Ⅱを実施。なお、4/24(木)・4/25(金)の2日間については友愛の丘で宿泊研修を行う。			
講義概要:	新入生研修Ⅰでは5つの約束・共通ルール・掃除・挨拶といった社会人としての基本的マナーや人間性の基礎を学ぶ。 新入生研修Ⅱではチームとしての考え方や行動の仕方を学ぶ。 宿泊研修では新入生研修の集大成として、学んだことを実践する。			
到達目標:	専門学生だけではなく、社会人としての基礎・基本を学び、社会人にふさわしい人間性を身に付ける。 チームや集団として行動していく中で、個人の役目や役割を意識した行動や言動が採れるようになる。			
講義スケジュール(変更の可能性有り)				
1回目	新入生研修Ⅰ(5時間)…5つの約束、明元素			
2回目	新入生研修Ⅰ(5時間)…気を付け・礼、ヨイオアシス、共通ルール、ケーススタディ			
3回目	新入生研修Ⅰ(5時間)…掃除研修、研修スタッフスピーチ、スピーチ原稿作成			
4回目	新入生研修Ⅰ(5時間)…新入生スピーチ、入学式リハーサル			
5回目	新入生研修Ⅱ(2時間)…鍋プロジェクト準備			
6回目	新入生研修Ⅱ(2時間)…鍋プロジェクト準備			
7回目	新入生研修Ⅱ(2時間)…鍋プロジェクト準備			
8回目	新入生研修Ⅱ(10時間)…友愛の丘宿泊研修			
9回目	新入生研修Ⅱ(10時間)…友愛の丘宿泊研修			
10回目	新入生研修Ⅱ(2時間)…研修の振り返り			
11回目	5/16(金) ヒューマンスキルプログラム①(アサーティブな対応)			
12回目	5/30(金) ヒューマンスキルプログラム②(メモ・傾聴・姿勢 発展研修)			
13回目	6/13(金) ヒューマンスキルプログラム③(PSA研修)			
14回目	6/27(金) ヒューマンスキルプログラム④(掃除 発展研修)			
15回目	7/11(金) ヒューマンスキルプログラム⑤(ピースポ)			
16回目	7/25(金) ヒューマンスキルプログラム⑥(OBOG座談会)			
授業教材等:				

講義名:	DMM英会話	講義時間数: 15時間	受講コース名: エアライン
担当:	リモート講師	単位数: 1単位	学年: 1年
講義形式:	演習		実施時期: 2025年度 前期
認定方法:			実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80～89点、B=70～79点、C=50～69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:			
備考:	DMM英会話受講回数により単位・成績を決定 計15回の受講で単位認定 (15～20回:C 21～25回:B 26～30回:A 31回～:S)		
講義概要:	DMM英会話の受講		
到達目標:	リモートを通じて世界各国の英語を話す外国人と会話し、外国人に対しての苦手意識をなくし、自然に会話できるようになる		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
毎回共通	リモートで外国人講師とつなぎ、各自自分に合わせたレッスンを受講。1日1回、自宅でも可能。		
授業教材等:			

講義名:	セルフマネジメント I ②	講義時間数: 90時間	受講コース名: エアライン	
担当:	坂上 弘次	単位数: 6単位	学年: 1年	
講義形式:	演習(小テスト・スピーチなど)		実施時期: 2025年度 後期	
認定方法:	その他(出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目	
評価:	S=90点以上、A=80～89点、B=70～79点、C=50～69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:	
追試験実施:	無し			
備考:	原則、全登校日の1限目に実施。日々積み重ねていくことが最も重要な科目であるため、試験ではなく、出席率・提出物を評価の対象とする。			
講義概要:	日直主導で企業朝礼を意識した挨拶・唱和の実施、情報共有・スケジュール確認他朝テストなどの帯学習実施 スピーチによる自己開示を含めた発信力の強化			
到達目標:	自律する力、自ら考える力、行動する力、感謝する心を身につける。 自分の考えを自分の言葉で表現できる。他者の考えを素直に吸収し人間性の幅を広げられる。			
講義スケジュール(変更の可能性有り)				
毎回共通	唱和・情報共有・小テスト(漢字・一般常識・基礎学力)・スピーチ・ディスカッション ※時期により内容変動有り			
授業教材等:	オリジナルプリント			

講義名:	秘書検定	講義時間数: 16時間	受講コース名: エアライン
担当:	橋本 昌奈	単位数: 1単位	学年: 1年
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2025年度 後期
認定方法:	その他(出席率・授業態度・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80～89点、B=70～79点、C=50～69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	無		
備考:			
講義概要:	秘書検定2級のテキストに沿って講義を行い、検定問題を解くことで、働く上で必要な基本的知識を身に付ける。		
到達目標:	秘書検定の学習を通じて、社会人として備えるべき基本的な常識を学び、職場常識や印象のよい対応、仕事上の優先順位を考える力等を身に付ける。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	必要とされる資質		
2回目	職務知識		
3回目	一般知識		
4回目	マナー・接遇		
5回目	マナー・接遇		
6回目	技能		
7回目	技能		
8回目	過去問		
9回目			
10回目			
11回目			
12回目			
13回目			
14回目			
15回目			
16回目			
授業教材等:			

講義名:	就職対策Ⅱ	講義時間数: 90時間	受講コース名: エアライン
担当:	藤原 有美	単位数: 6単位	学年: 1年
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2025年度 後期
認定方法:	その他(出席率・授業態度・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目 ☐
評価:	S=90点以上、A=80～89点、B=70～79点、C=50～69点、 D=50点未満(単位不認定)	実務経験: 客室乗務員勤務歴4年	
追試験実施:			
備考:			
講義概要:	就職活動(文章作成、面接練習、グループディスカッション)対策		
到達目標:	文章作成のコツを掴み、ESが書けるようになる。面接、グループディスカッションを基本から習得し、自分の良さを活かした表現力を身に付ける。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
毎回共通	文章作成練習		
	面接練習(入退室、質疑応答)		
	グループディスカッション		
授業教材等:			

講義名:	TOEIC I ②advanced	講義時間数: 46時間	受講コース名: エアライン	
担当:	大館 直也	単位数: 3単位	学年: 1年	
講義形式:	座学		実施時期: 2025年度 後期	
認定方法:	その他(出席率・授業態度・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目	○
評価:	S=90点以上、A=80～89点、B=70～79点、C=50～69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験: 留学エージェンツ会社の現役留学コーディネーター TOEIC指導歴 14年	
追試験実施:	無			
備考:	評価:出席率30%、授業態度30%、単語テスト20%、宿題20%			
講義概要:	・TOEICの概要と対策、学習法を知る。 ・単語の品詞、特性、効率的なノートの作り方、覚え方を学ぶ。 ・リスニングではpart1.2、リーディングではpart5.6.7(single passageのみ)について学ぶ。 ・TOEIC必須英単語を学ぶ。 ・TOEICの基礎となる中学高校英文法の復習を行う。			
到達目標:	・基礎となるTOEIC頻出単語フレーズを身につける。 ・リスニングパート1及び2に慣れ、得点源とする。(目標:70%正答) ・リーディングパートを読むコツ(文法)を学び、パート5.6及び7(シングルパッセージまで)にて60%の正答を目指す。 ・TOEICテストにて500点台を目指す。			
講義スケジュール(変更の可能性有り)				
1回目	フレーズテスト、単語Day15、リーディング実践演習		17回目	単語テスト、リーディングDay5、実践演習
2回目	単語テスト、フレーズDay15、リスニング実践演習		18回目	フレーズテスト、リーディングDay6、実践演習
3回目	フレーズテスト、単語Day16、リーディング実践演習		19回目	単語テスト、リーディングDay7、実践演習
4回目	単語テスト、フレーズDay16、リスニング実践演習		20回目	フレーズテスト、リーディングDay8、実践演習
5回目	フレーズテスト、単語Day17、リーディング実践演習		21回目	単語テスト、リーディングDay9、実践演習
6回目	単語テスト、フレーズDay17、リスニング実践演習		22回目	フレーズテスト、リーディングDay10、実践演習
7回目	フレーズテスト、単語Day18、リーディング実践演習		23回目	単語テスト、リーディングDay11、実践演習
8回目	単語テスト、フレーズDay18、リスニング実践演習		24回目	
9回目	フレーズテスト、単語Day19、リーディング実践演習		25回目	
10回目	単語テスト、フレーズDay19、リスニング実践演習		26回目	
11回目	フレーズテスト、単語Day20、リーディング実践演習		27回目	
12回目	単語テスト、フレーズDay20、リスニング実践演習		28回目	
13回目	単語テスト、リーディングDay1、実践演習		29回目	
14回目	フレーズテスト、リーディングDay2、実践演習		30回目	
15回目	単語テスト、リーディングDay3、実践演習		31回目	
16回目	フレーズテスト、リーディングDay4、実践演習		32回目	
授業教材等:	①キクタン TOEIC L&Rテスト Score500 ②TOEIC L&Rテスト書き込みドリル【リーディング編】 ③TOEIC L&Rテスト 書き込みノートドリル【ボキャブラリー編】 ④TOEIC L&Rテスト 書き込み ノートドリル【フレーズ言いまわし編】			

講義名:	TOEIC I ②Basic	講義時間数: 46時間	受講コース名: エアライン	
担当:	大館 直也	単位数: 3単位	学年: 1年	
講義形式:	座学		実施時期: 2025年度 後期	
認定方法:	その他(出席率・授業態度・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目	○
評価:	S=90点以上、A=80～89点、B=70～79点、C=50～69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験: 留学エージェント会社の現役留学コーディネーター TOEIC指導歴 14年	
追試験実施:	無			
備考:	評価:出席率30%、授業態度30%、単語テスト20%、宿題20%			
講義概要:	・TOEICの概要と対策、学習法を知る。 ・単語の品詞、特性、効率的なノートの作り方、覚え方を学ぶ。 ・リスニングpart2の問題を通して、聞き取りの基本を学ぶ。 ・品詞を軸として、Part5で必要とされる文法知識を身に着ける。 ・TOEIC基礎単語を学ぶ。			
到達目標:	・基礎となるTOEIC単語(300語)の内、70%の単語においては意味が分かるようになる。 ・リスニングpart2に触れ、60%正答できるようになる。 ・リーディングpart5で40%正答できるようになる。 ・TOEIC試験にて400点台を目指す。			
講義スケジュール(変更の可能性有り)				
1回目	書き込みノートLesson1、単語テキストUnit4チャレンジドリル、実践演習問題	17回目	書き込みノートLesson16単語テスト、書き込みノートLesson17、単語テキストUnit20チャレンジドリル、実践演習問題	
2回目	書き込みノートLesson1単語テスト、書き込みノートLesson2、単語テキストUnit5チャレンジドリル、実践演習問題	18回目	書き込みノートLesson17単語テスト、書き込みノートLesson18、単語テキストUnit21チャレンジドリル、実践演習問題	
3回目	書き込みノートLesson2単語テスト、書き込みノートLesson3、単語テキストUnit6チャレンジドリル、実践演習問題	19回目	書き込みノートLesson18単語テスト、書き込みノートLesson19、単語テキストUnit22チャレンジドリル、実践演習問題	
4回目	書き込みノートLesson3単語テスト、書き込みノートLesson4、単語テキストUnit7チャレンジドリル、実践演習問題	20回目	書き込みノートLesson19単語テスト、書き込みノートLesson20、単語テキストUnit23チャレンジドリル、実践演習問題	
5回目	書き込みノートLesson4単語テスト、書き込みノートLesson5、単語テキストUnit8チャレンジドリル、実践演習問題	21回目	書き込みノートLesson20単語テスト、書き込みノートLesson21、単語テキストUnit24チャレンジドリル、実践演習問題	
6回目	書き込みノートLesson5単語テスト、書き込みノートLesson6、単語テキストUnit9チャレンジドリル、実践演習問題	22回目	書き込みノートLesson21単語テスト、書き込みノートLesson22、単語テキストUnit25チャレンジドリル、実践演習問題	
7回目	書き込みノートLesson6単語テスト、書き込みノートLesson7、単語テキストUnit10チャレンジドリル、実践演習問題	23回目	書き込みノートLesson22単語テスト、書き込みノートLesson23、単語テキストUnit26チャレンジドリル、実践演習問題	
8回目	書き込みノートLesson7単語テスト、書き込みノートLesson8、単語テキストUnit11チャレンジドリル、実践演習問題	24回目		
9回目	書き込みノートLesson8単語テスト、書き込みノートLesson9、単語テキストUnit12チャレンジドリル、実践演習問題	25回目		
10回目	書き込みノートLesson9単語テスト、書き込みノートLesson10、単語テキストUnit13チャレンジドリル、実践演習問題	26回目		
11回目	書き込みノートLesson10単語テスト、書き込みノートLesson11、単語テキストUnit14チャレンジドリル、実践演習問題	27回目		
12回目	書き込みノートLesson11単語テスト、書き込みノートLesson12、単語テキストUnit15チャレンジドリル、実践演習問題	28回目		
13回目	書き込みノートLesson12単語テスト、書き込みノートLesson13、単語テキストUnit16チャレンジドリル、実践演習問題	29回目		
14回目	書き込みノートLesson13単語テスト、書き込みノートLesson14、単語テキストUnit17チャレンジドリル、実践演習問題	30回目		
15回目	書き込みノートLesson14単語テスト、書き込みノートLesson15、単語テキストUnit18チャレンジドリル、実践演習問題	31回目		
16回目	書き込みノートLesson15単語テスト、書き込みノートLesson16、単語テキストUnit19チャレンジドリル、実践演習問題	32回目		
授業教材等:	①TOEIC L&Rテスト英単語ゼロからスコアが稼げるドリル ②TOEIC L&Rテスト書き込みノート単語&熟語編			

講義名:	英会話 I ②	講義時間数: 30時間	受講コース名: エアライン	
担当:	Robert	単位数: 2単位	学年: 1年	
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2025年度 後期	
認定方法:	その他(出席率・授業態度・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目	○
評価:	S=90点以上、A=80～89点、B=70～79点、C=50～69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:	
			講師経験22年	
追試験実施:				
備考:	Please arrive on time to class. Please bring your textbook and a notebook to every class.			
講義概要:	This class will focus on basic English conversation skills and conversation strategies. As well, when appropriate it will introduce useful business English to help students acquire the necessary skills and knowledge needed to better perform in the service industry; such as Airline & hotel. A tentative schedule of the 1st Semester is below, which uses the ‘Nice Talking with You 1’ textbook. Please understand the schedule may change.			
到達目標:	A key part of this course is participation and attendance. You will often work in pairs and groups so try not to be shy, and remember – the more you try the better you will become at speaking English. Please bring a B5 notebook as you might have to write some things down. Also, please no using phones during the lesson. If you want to use the phone to look up a word, please ask.			
講義スケジュール(変更の可能性有り)				
1回目	Review-First Semester Review Activity.			
2回目	Unit 8: Polite requests Can / Could / Would			
3回目	Ordering at a restaurant. Role-play: Asking for help			
4回目	Unit 9: Simple past (regular verbs) I played soccer. She watched TV.			
5回目	Telling a short story in past tense			
6回目	Unit 11: Future with going to. I’m going to visit my friend.			
7回目	Final Class of the Semester-Final Quiz and speaking test			
8回目				
9回目				
10回目				
11回目				
12回目				
13回目				
14回目				
15回目				
16回目				
授業教材等:	Textbook : Side by Side Level 1			

講義名:	エアラインマインドⅡ	講義時間数: 30時間	受講コース名: エアライン
担当:	長澤 さおり	単位数: 2単位	学年: 1年
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2025年度 後期
認定方法:	認定試験(筆記・実技)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80～89点、B=70～79点、C=50～69点、 D=50点未満(単位不認定)	実務経験: エアライン業界勤務 10年	
追試験実施:	有(試験日欠席、またはD評価の場合)日時未定 講義時間数の80%以上出席必要 追試験検定料 1,000円 追試験合格点 50点以上(評価 C)		
備考:			
講義概要:	エアラインマインドⅠで修得したホスピタリティマインドを模擬面接を通し深掘りし、接遇者としての土台を作る。同時に就職活動に向けて、就職活動マナーの体得や自己分析によるセルフプロデュースの適した方法を身につける。		
到達目標:	エアラインマインドⅠで得た、主体的に考え、自己の向上心を持ち、他者と良好な対人関係を築くことができる力、並びに、根底に「思いやり」「助け合い」の心を持ち、社会の発展に貢献する価値を作り出すことができる思考またその力、を土台に、社会から求められる接遇者の卵となり得ることを目指す。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	インターンシップに向けて		
2回目	エアライン業界企業研究・就職活動のマナー・面接の心得		
3回目	エントリーシートについて・集団模擬面接		
4回目	集団模擬面接		
5回目	集団模擬面接		
6回目	集団模擬面接		
7回目	集団模擬面接		
8回目	集団模擬面接		
9回目	集団模擬面接		
10回目	集団模擬面接		
11回目	集団模擬面接		
12回目	集団模擬面接		
13回目	認定試験:個人模擬面接		
14回目	認定試験:個人模擬面接		
15回目	認定試験:個人模擬面接		
16回目			
授業教材等:	ホスピタリティ・マナーテキストブック、配布プリント		

講義名:	パソコン基礎 I	講義時間数: 30時間	受講コース名: エアライン
担当:	坂上 弘次	単位数: 1単位	学年: 1年
講義形式:	実技・実習		実施時期: 2025年度 後期
認定方法:	その他(出席率・授業態度・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80～89点、B=70～79点、C=50～69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	無		
備考:			
講義概要:	ビジネスメールの打ち方、ビジネス文書の作成などwordの基礎を学ぶ		
到達目標:	送付状や資格別紙、チラシなどを作れるようになること、パソコンに親しむことが目標。 内容は2年生にも引き継いでいく。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	パソコン操作について		
2回目	word①		
3回目	word②		
4回目	word③		
5回目	word④		
6回目	word⑤		
7回目	word⑥		
8回目	単位認定試験		
9回目			
10回目			
11回目			
12回目			
13回目			
14回目			
15回目			
16回目			
授業教材等:			

講義名:	SPI②	講義時間数:32時間	受講コース名: エアライン	
担当:	坂上 弘次	単位数: 2単位	学年: 1年	
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2025年度 後期	
認定方法:	その他(出席率・授業態度・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目	
評価:	S=90点以上、A=80～89点、B=70～79点、C=50～69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:	
追試験実施:				
備考:				
講義概要:	前期行ったSPIをベースに、より幅広い内容に取り組んでいく。			
到達目標:	SPI受験への抵抗感をなくしていく。SPIだけでなく、CABなどにも取り組み、幅広く対応できるようにする。			
講義スケジュール(変更の可能性有り)				
1回目	確認テスト			
2回目	推論			
3回目	場合の数			
4回目	確率			
5回目	集合			
6回目	損益算			
7回目	速度算			
8回目	表の読み取り			
9回目	資料の読み取り			
10回目	長文読み取り計算			
11回目	代金の清算			
12回目	料金の割引			
13回目	割合の計算			
14回目	装置と回路			
15回目	物の流れと比率			
16回目	単位認定試験			
授業教材等:	スタディプロ(アプリ)			

講義名:	学科研修Ⅰ②	講義時間数:30時間	受講コース名:エアライン	
担当:	坂上 弘次	単位数: 2単位	学年: 1年	
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2025年度 後期	
認定方法:	その他(出席率・授業態度・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目	
評価:	S=90点以上、A=80～89点、B=70～79点、C=50～69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:	
追試験実施:	無			
備考:	講義スケジュールは実施回によって時間が異なる			
講義概要:	・学校行事や学科行事、それに付随する準備時間など ・履修状況報告書の作成 ・年度始めなどの節目での「整える」時間、振り返りなどを行う			
到達目標:	学校行事を通して学科の垣根を越え交流を育むと同時に多様な価値観に触れ、視野を広げることを目的とする。また履修状況報告書を通してお世話になった方々への感謝を形にする。			
講義スケジュール(変更の可能性有り)				
1回目	JALフィロソフィについて、振り返り①	17回目		
2回目	振り返り②、目標設定	18回目		
3回目	就職活動について	19回目		
4回目	履修状況報告書作成	20回目		
5回目	大掃除	21回目		
6回目	ビーフェスタ準備	22回目		
7回目	ビーフェスタ	23回目		
8回目	初詣	24回目		
9回目	JAL1フィロソフィについて、振り返り③	25回目		
10回目	ブレイクデー	26回目		
11回目	1年生振りかえり、2年生にむけて	27回目		
12回目		28回目		
13回目		29回目		
14回目		30回目		
15回目		31回目		
16回目		32回目		
授業教材等:				

講義名:	ビジネス能力検定対策	講義時間数: 16時間	受講コース名: エアライン
担当:	坂上 弘次	単位数: 1単位	学年: 1年
講義形式:	座学		実施時期: 2025年度 後期
認定方法:	その他(出席率・授業態度・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80～89点、B=70～79点、C=50～69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	無		
備考:			
講義概要:	卒業必須資格であるビジネス検定ジョブパスの3級テキストを使いながら就業意識を高める過去の試験問題を解き、3級の取得を目指す。		
到達目標:	ビジネス検定ジョブパス3級の合格を目指し、問題集を実施していくそれとともに働く意識、社会人とは、も考え就職活動に備えていく		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	立ち上がり・動機付け・スケジュール確認		
2回目	仕事の基本・8つの意識・ビジネス用語		
3回目	PDCAサイクル・敬語・電話対応・報連相①		
4回目	PDCAサイクル・敬語・電話対応・報連相②		
5回目	来客対応・席次・名刺交換		
6回目	統計・データの読み方・新聞の読み解き方		
7回目	試験対策		
8回目	試験対策		
9回目			
10回目			
11回目			
12回目			
13回目			
14回目			
15回目			
16回目			
授業教材等:			

講義名:	エアラインビジネス	講義時間数:16時間	受講コース名: エアライン	
担当:	坂上 弘次	単位数: 1単位	学年: 1年	
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2025年度 後期	
認定方法:	その他(出席率・授業態度・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目	
評価:	S=90点以上、A=80～89点、B=70～79点、C=50～69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:	
追試験実施:	無			
備考:				
講義概要:	エアラインビジネスについて産業論・経営論・現業論の3つの切り口からアプローチし、知識を学ぶ。			
到達目標:	就職活動の業界研究とは違う、航空を取り巻く経済、政治、社会の動きを知り、より深くエアラインについて知ることが目標。			
講義スケジュール(変更の可能性有り)				
1回目	エアラインビジネスとは、エアラインビジネスの歴史と空港について			
2回目	LCCとこれからのエアライン・ビジネス、航空産業をめぐる新たな潮流			
3回目	航空会社の経営計画、安全管理			
4回目	航空会社の商品(運賃、販売手法)と関連事業			
5回目	空港業務と旅客ハンドリング			
6回目	航空貨物輸送と客室サービス			
7回目	運航業務員と航空機整備			
8回目	単位認定試験			
9回目				
10回目				
11回目				
12回目				
13回目				
14回目				
15回目				
16回目				
授業教材等:	エアラインビジネス入門			

講義名:	カラー	講義時間数:16時間	受講コース名: エアライン	
担当:	橋本 昌奈	単位数: 1単位	学年: 1年	
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2025年度 後期	
認定方法:	その他(出席率・授業態度・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目	
評価:	S=90点以上、A=80～89点、B=70～79点、C=50～69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:	
追試験実施:	無			
備考:				
講義概要:	自分に似合う色を把握し、活用方法を学ぶ。就職活動のメイクにも活かすことができる色の知識を学ぶ。			
到達目標:	自己ブランディングをしていくことで、第一印象を良くする装いを学び、ビジネスシーンでも活用出来るようになる。			
講義スケジュール(変更の可能性有り)				
1回目	パーソナルカラー・三属性・4タイプの説明			
2回目	4タイプ確認と色素について			
3回目	似合う色を客観的に探す ドレーピング準備			
4回目	ドレーピングをして自分の4タイプを知る 他者の4タイプを客観的に考察する			
5回目	ドレーピングをして自分の4タイプを知る 他者の4タイプを客観的に考察する			
6回目	似合う色の取り入れ方を考える、具体的な配色技法			
7回目	簡易骨格診断、3タイプの骨格について説明			
8回目	3級検定問題練習、自分ブランディング発表			
9回目				
10回目				
11回目				
12回目				
13回目				
14回目				
15回目				
16回目				
授業教材等:				

講義名:	メイク	講義時間数: 16時間	受講コース名:
担当:	藤原 有美	単位数: 1単位	学年: 1年
講義形式:	座学・演習		実施時期:
認定方法:	その他(出席率・授業態度・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80～89点、B=70～79点、C=50～69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験: 客室乗務員勤務歴4年
追試験実施:	無		
備考:			
講義概要:	就職活動向けのメイク、ヘアセット		
到達目標:	華やかであるが、万人から好感を持たれるメイクをセルフで行えるようになる		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	フェイスメイク		
2回目	フェイスメイク		
3回目	フェイスメイク		
4回目	フェイスメイク		
5回目	フェイスメイク		
6回目	ヘアセット		
7回目	ヘアセット		
8回目	トータル身だしなみ		
9回目			
10回目			
11回目			
12回目			
13回目			
14回目			
15回目			
16回目			
授業教材等:			

講義名:	インターンシップ	講義時間数: 108時間	受講コース名: エアライン	
担当:	両備スカイサービスカンパニー	単位数: 3単位	学年: 1年	
講義形式:	演習		実施時期: 2025年度 後期	
認定方法:	その他(出席率・授業態度・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目	
評価:	S=90点以上、A=80～89点、B=70～79点、C=50～69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験: 岡山空港現役グランドスタッフ	
追試験実施:	無			
備考:				
講義概要:	岡山空港にて国際線グランドスタッフの業務を体験する			
到達目標:	実践的スキルの習得や社会人・業界人として必要な考え方や行動を身につける。			
講義スケジュール(変更の可能性有り)				
毎回共通	岡山空港(両備スカイサービスカンパニー)での実習			
	グランドスタッフ業務、接客業務を行う			
授業教材等:				